平成30年度 第1回鴨川市スポーツ推進審議会 議事録

日 時 平成31年1月24日（木） 11時00分

場 所 鴨川市文化体育館2階会議室

出席委員 庄司清志・花山藤太郎・山下洋介・井藤機句男・清水宣雄・渡辺淳一・水野和枝（7人）
事務局 亀田市長・平川建設経済部長・鈴木課長・鈴木課長補佐・桐木係長・鈴木係長
久保副主査（7人）

1 開会（10：58）

【事務局】

皆さん、こんにちは。会議に入ります前に配布の資料を確認させていただきたいと思います。まず1点目、審議会の次第、2点目としてスポーツ推進審議会委員名簿、そして、審議会資料、4点目、計画書（案）、5点目として承諾書、6点目として口座振替振込届出書があります。これにつきましては、新規の方のみにお配りをしておりますのでよろしくお願い致します。なお、この審議会は、「鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領」により、公開となっておりますので、会議の記録、録音させていただきますので、ご承諾をお願いします。

また、次第6の議件（1）（仮称）スポーツを通じた地域振興基本計画（案）について、株式会社ミライノラボに業務を委託しておりますので、本審議会において、「鴨川市スポーツ推進審議会条例」第5条第4項により、計画を説明するため出席をお願いしておりますので、重ねてご了承をお願い致します。時間より若干早いようですが、始めさせていただきますのでよろしいでしょうか。

（「はい」の声）

それでは、審議会の資料の次第によりまして進めさせていただきます。次第の1 開会でございますが、改めまして、本日の進行させていただきます、スポーツ振興課、課長の鈴木と申します。どうぞ、よろしくお願いします。

2 委嘱状交付

【事務局】

会議に先立ちまして委嘱状を今から交付させていただきますので、お名前をお呼びします。自席にてお受け取りをいただけたらと思います。よろしくお願いします。

（市長から各委員に委嘱状交付。介添え 鈴木係長）

3 市長あいさつ

【事務局】

続きまして、亀田市長からご挨拶を申し上げます。

市長、よろしくお願いします。

【亀田市長】

(挨拶)

【事務局】

ありがとうございました。ここで、次第にはございませんが、自己紹介、最初の顔合わせという面もごございます。自己紹介をお願いしたいと思います。庄司委員様から随時一言いただければと思います。

(庄司委員から順次挨拶→事務局挨拶)

4 役員選出

【事務局】

本日、委員さんは全員出席でございますので、この審議会は成立致しますことをご報告申し上げます。そして、役員推薦にあたりまして、会長が決まりますまで、市長を座長として進めたいと存じますが、ご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声多数)

異議なし、ということですので、それでは市長よろしくお願い致します。

【亀田市長】

それでは正副会長が決まるまでの間、座長を務めさせていただきます。委員の皆さんからご意見を頂戴したいと存じますが、自薦、他薦何か案がございますでしょうか。

【花山委員】

事務局の方で何か案がありましたらお任せしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【亀田市長】

只今、事務局案というものをご意見いただきました。他には。それでは、事務局。

【事務局】

はい、それでは事務局案としてご推薦させていただきたいと思います。会長に山下洋介委員、副会長に清水宣雄委員にお願いできたらと思います。以上でございます。

【亀田市長】

それでは会長に山下委員、そして副会長に清水委員をお願いしたいとの事務局案ですが、よろしいでございますでしょうか。

(拍手多数)

それでは、正副会長が決定いたしましたので、ここに座長の任務を解かさせていただきます。ご協力

ありがとうございました。

【事務局】

ありがとうございました。山下会長、清水副会長、一言ずついただけたらと思います。よろしくをお願いします。

【山下会長】

(挨拶)

【清水副会長】

(挨拶)

5 報告

【事務局】

それでは、早速、次第の5の報告に入りたいと存じます。「スポーツ推進審議会設置条例」第5条第1項に基づきまして、これより議長の進行を、山下会長にお願いしたいと存じます。山下会長よろしくをお願いします。

【山下会長】

規定によりまして、しばらくの間、議長を務めさせていただきます。委員の皆様方のご協力をよろしくお願い致します。

なお、本日の議事録署名人につきましては、水野和枝委員にお願いします。よろしくどうぞお願いします。

【水野委員】

よろしくをお願いします。

【山下会長】

では早速でございますけれども、5 報告（1）平成30年度事業実施状況について、（2）平成30年度運動施設利用状況について、一括で事務局から報告をお願い致します。

【事務局】

資料に基づき説明。

【山下会長】

只今、事務局の方から説明がございました。ご意見、ご質問等ございましたら承りたいと思います。よろしくをお願いします。

清水委員。

【清水委員】

最初に確認をお願いしたいのは、5ページの体育センターのテニスコート利用者が0、それか

ら宮運動広場の方も0、それとその次のページ（6ページ）の、旧曾呂小学校の利用が0となっておりますが、これはこの施設が非常に使用不可能な状態で0なのか、それとも使用できる状態であるのにも関わらずニーズがなかったということでしょうか。どちらなのでしょう。

【山下会長】

ありがとうございました。事務局。

【事務局】

はい、実際にはニーズがなかったというところですが、ただし、体育センターのテニスコートにつきましても、ニーズがないプラス有意に整備をしていないというような状況が続いております。と言いますが、元々は、鴨川中学校が今の医療大学の所にあった時に、テニス部が使っていたというような、主にそういった活用がありました。

また、宮の運動広場につきましても、小さな野球場で、実際には曾呂地区の少年野球チームが使っておりました。江見小学校ができて、そのグラウンドで活用して練習ができるということで、実際には宮の運動場から江見の小学校の方に移っている経緯がございます。

また、大山の庭球場につきましても、若干の利用はあるのですが、やはり大川面という庭球場もございますので、多くはそちらの方を使って、なかなか大山まで行かれる方は少ない、老朽化も激しいということもありますがそういった状況でございます。

【山下会長】

よろしいですか。

【清水委員】

もう一点ございます。もう一点は、ここでまとめられている数字というのが、おそらくスポーツ振興課を通して利用の申請があって、主にスポーツ関係の利用というふうに認識しているんですけども、例えば、福祉関係で福祉協議会等がスポーツという事では無く、運動に限らずそういう利用とかいうものはいかがなのでしょう。

【事務局】

この中にまとめてありますのが、土日の昼間、あるいは夜間の利用、そういったものに関しまして、スポーツ団体が主に活用している実績を挙げてございますが、当然福祉団体が夜間使ったり日曜使ったり、という場合うちの方に申請が挙がってきてこの中には入っているということです。

【清水委員】

これは意見なんですけれども、この数値を見せて頂いても、「使わないから、施設が荒れる。荒れてしまうとまた使う人が減ってしまう」という悪循環の中に入っていくのは予算上やむを得ないことなのかなと感じます。ただそのような部分で考えましても運動できる場所や施設の準備をするということだけではなくて、プログラムサービスとか、このようなことがあるからここに来て下さいというような働きかけや仕組みを作っていくと、なかなかスポーツの振興という部分では限界があるのかなと感じるところであります。

【山下会長】

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。
花山委員。

【花山委員】

テニス場という形でありますけれども、テニス人口も急激に減りまして、市で管理していませんが、亀田病院で管理している天津にありますテニスコートや、市が所有している施設より利用している所があります。とにかく、少子高齢化、それでテニスをやる人口、我々が育ってくる時代と違ひまして、急激に減っていったというような状況です。だからその時々時代に合わせたスポーツに対してのニーズも変わっているのではなかという気がします。

特に、雑談的な形でいきますと、野球をやる人口を急激に超えていっているのは今サッカー人口ではないかと。清水委員はご存じだと思いますけど、最近、非常にそのようなスポーツのやる種目が変わっていったような状況ですね。だからどうしても利用率の悪い状況。そうなると外にPRしてそれなりの整備を1箇所まとめて、また外からも呼んでもらって地元の子だとか地元の人に刺激を与えて再度テニス人口を増やしていく、というようなかたちを作っていないと、そのまま廃っていってしまうのではという気がします。

【清水委員】

ありがとうございます。まさしくおっしゃるとおりでございます。ですからそういう意味も込めて、例えば、テニスコートだからテニスということではなくて、そこを使って何か他の仕事をするとか、場合によってはいろんな形で使えるようなプログラムを含めて、今、花山委員がおっしゃるようなそのような働きかけ、仕組みというものは考えていくべきではないかなと思います。

【山下会長】

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。

【事務局】

はい。

【事務局】

今、様々な意見が出ております。そういったことも含め、これから推進しようとしているスポーツ・コミッションが大きな役割を果たしていくものと考えております。また、市といたしましても、今ある施設を全部存続するのではなく、より多く利用者が快適にスポーツすることはもちろんですが、やはり使わないものはそれなりに削っていく、ということも選択肢の一つではないかと思っています。以前、成川の運動広場が利用が無かったときに、この場において、「止めたらどうだ。」というようなご提言を頂き、借地でしたのでそれをお返しして閉鎖した、という実績もございますので、そういったことも考えながら今後進めていけたらと思っています。

【山下会長】

ありがとうございました。他にいかがですか。
では、質問どうぞ。

【井藤委員】

一戦場の施設は、体育館とテニス場があるのですが、有料でしょうけれども、あれはどのような位置付けになっているのでしょうか。

【事務局】

あれは、都市建設課の方で管理をしております。

【井藤委員】

はい、わかりました。

【山下会長】

ありがとうございました。他にいかがですか。

【渡辺委員】

4 ページで前年同期の数値を見ますと、「市内」・「市外」というかたちで、ソフトボール場とか野球場とか文化体育館ということに関して、「市内」は数値的には前年比が増えています。それで、「市外」が約2割減、サッカー場だけ「市内」が3割減ということで、個別の種目を見てみますと、「市外」のソフトボール場、野球場、文化体育館がどういうスポーツをやっているのか私にはわからないのですけれども、そのような意味で、1個あたりの個別のスポーツと「市内」・「市外」というところで対応策を考えていく必要があるかなと思います。今後検討する前にこのような数値を見ながら検討すべきかなと感じるところであります。「市内」はスポーツ前年比何人になる数としたらいいのか、「市外」は3割減ぐらいに減ってきているという中で、「市外」にどうアピールしていくか、ということを追求していくことが求められてきていると思います。数値的にはそのようなことが言えるのではないかなと思います。

【事務局】

はい、数値的に見るとそのような傾向があるかと思いますが。ただし、関与している事務方の感覚ですと、さほど例年と変わっていないようなニュアンスと受け止めています。ただし、市外のお客様を含め、土日に関しましては既にかかなりの利用があります。それが市内のバランスであったり、市外のバランスであったり、この市内外のバランスがどの程度いいのか、というのは今後検討していくことも必要だと思いますが、市としましては平日の昼間、そこをどうしていくかというのが喫緊の課題ではないかと思っています。また方策につきましても、今後の進める中で是非検討していただきたいと思っています。

【渡辺委員】

そのような中で、これは非常に難しい議論なのでそこまで求めはしませんけど、女子サッカーの合宿だったり、陸上の車いすだったり、非常に忙しい思いをしていると思うんですけど、このような施設の利用にどう繋がっていくのか、鴨川に来て頂いて競技をやっていただくということにどう繋がっていくかという戦略を立てる人が必要であります。要するにいろんなことをやられているんですけども、それが結果として鴨川市のスポーツにどのようなかたち、例えば施設の利用にどう繋がっていくかということの戦略まで踏まえていく必要があります。

【山下会長】

ありがとうございました。

【事務局】

今後スポーツ・コミッションという組織が立ち上がりますので、そこで自然体のスポーツ、あるいはスポーツだけではなくてそういった戦略、様々な市が持っている財産との融合ですとか、そのようなことも考えながら、地域振興、市の振興と言うことも大きな課題として捉えて、今後進めていけたらと思っております。

【渡辺委員】

よろしくをお願いします。

【山下会長】

ありがとうございました。よろしいですか。

他にご意見ありますか。

なければよろしいですか。

(はい、との声あり)

6 議件

【山下会長】

次に、次第の6 議件に入ります。

まず、議件の(1)(仮称)スポーツを通じた地域振興基本計画(案)につきまして、事務局より説明をお願いします。

【事務局】

資料に基づき説明。(途中、基本計画策定業務を委託しているの株式会社ミライノラボ田島氏からの説明あり)

【山下会長】

ありがとうございました。

その他、ご意見ございましたらお願いします。

花山委員。

【花山委員】

ミライノラボさんの方へお願いしておきたいんですが、我々が住んでいる千葉南部は一番自然に恵まれた地域であると思います。近年、台風などがこの地域を外していつてくれている状況で、災害の無い地域をPR出来ると思っております。ものすごくスポーツに秀でれば秀でるほど動物の感覚に近づいていくと思います。そうすると鴨川の自然がすごく癒やされるということうまくPRしたほうが良いと思います。最近、陸上関係の方も来てますから野球でも何でも皆に砂浜で走らせてみたり、基礎体力を今作る時期ですから、そのあたりもうまく入れてもらう自然の良さをPR出来ると思います。

また、いろいろな事情で体育館が保留になっていますけど、今一度、計画の中に入れていく。これは行政だけではなくて、そのようなものにバックアップしてくれる、管理しながらという形でもどこか企業でも何でも協力してもらえらる方向に持って行く必要がある。観光関係の旅館・ホテル辺りが資金を出し合って行政と共にやっていくとか、それで見返りに宿泊客が来るとか、やはり強い選手が来ないと地元の子は来ない。強い選手が来てここ鴨川でそういう練習をした、大会をやった、となると、他の鴨川市外の方達もやっぱり来てくれます。昨年あたりは早稲田を卒業した大迫選手がマラソンで日本最高記録を作りまして一億円稼ぎました。これが早稲田なので、早稲田のセミナーハウスが鴨川にあり、箱根駅伝が終わりますと早稲田グループ、早稲田を卒業した人達が、城西大学も明治もみんな早稲田の卒業生が監督をやっているんですよ。グループで4、5校、3月位になると走り回っているんですよ。それをPRしていけば、そこにファンが来て鴨川の中を走ろうとしてくれる、そうすると施設もいらない、この自然の説明もできる、宿泊業も日帰りではなくて泊まってやってくれるとか、というような形になっていくのではないかなと思います。この自然の中を走らせれば良い訳ですから。そういうのも一つ入れておいてもらいたいなど。以上です。

【山下会長】

ありがとうございました。他にございませんか。

【渡辺委員】

18ページを見ますと、要するに1,200万(の収入)で、市が維持管理に入っているのが29年度約6,700万ということで、収入と支出が5倍の関係にある訳です。ですから、この是正をどうするかになると思いますので、先程一番最後に「今後の目標」という形がありますが、多分、数値か何か入れていかない限りは全く判断もできずに終わってしまう訳です。ここに現実には18ページにこういう数値が出ている以上、どのような数値を目標にしているかを明らかにしないと「やりました。」ということで終わってしまう。つまり、数値目標が無い限りは非常に意味が薄れてくる可能性がある。

それから、もう一点、清水委員がずっとおっしゃってることなんですけど、11ページを見ますと、リンクBで「運動・スポーツを楽しむための健康・体力づくり」というのがあります。これは以前の委員会の方でもご指摘させて頂いたのですが、個別の26ページを見ると、スポーツ文化創造事業で、「一般市民レベルにおける、スポーツの日常化」とか謳ってあります。あるいは32ページの「自主的な健康づくりの促進」という形で触れられてはいますが、全体の流れの中でそれは全部きちんと入ってきている。そうすると、「これ本当にやるの」というか、見た目として市民の健康づくり、体力づくりは非常に重要だし、それがあってこそ初めて文化が言える訳です。

そのような意味でここは市として例えば「市内街歩き運動をやる」とか「ビーチでヨガやりましょう」みたいなことを含めて、健康体力づくりをやるということは部分的には謳われているが、「点」であって「線」ではない計画なので、これは是非「線」にさせていただくということです。

最後に、25ページの観光プラットフォームが提唱しているウェルネスリゾートですが、これは委員会の方で提唱している訳であり、プラットフォームで提唱している訳ではないということは前回の委員会でもご指摘させて頂いたので、事実上事実として訂正して頂きたい。将来的にプラットフォームが戦略的なこととか色々なことを考えて実行していくということにはなるとは

思いますけど、現時点ではまだ審議中なので、委員会が中心となって提唱していくということです。この事実関係だけはきちんとして頂きたい。

これにブランディングを入れたということは非常に素晴らしいと思っており、高く評価したいと考えています。ただ、地域のブランディングというのは何なの、というところの議論は深めていかないと進まないことではないかと思えます。それが日常・非日常性の質の高いことかもしれないし、それは皆さんで議論してほしい。ブランディングを入れたことは素晴らしいことですが、ブランディングの目標、何のブランディングに風韻したいのか、という事をやっぱり詰めておかないと、単に「ブランディングに寄与します」ではなくて、「何のブランディングにしたいのか」にすると、より精緻な計画になってくるのではないかと思います。

【山下会長】

ありがとうございました。

【亀田市長】

少し、よろしいですか。

【亀田市長】

今のご指摘はそのとおりだと思います。このコミッションを作ろうと。先程の18ページの金額ですが、歳出の数字がただ2億8千とか9千万、6千万とばらつきがありますけれども、これは設備投資の件も入ってくるということなのです。ただこれには人件費が入っていないので、全部で1億数千万が出ています。ですからその効果を、これからコミッションを作るにはその効果というものをきっちり数字で表せるようにしていかなければいけないということを第一に考えていかなければならない。

そのプラットフォームもウェルネスだとかブランディングだとか当然やっていくんですけど、今までの観光課として使っていて、観光課で色々な施策をやっていってもなかなかやっていくことができない。表に出したということで、とりあえず赤字垂れ流しをもう少しお金での面できちんと抑えていこうということが先行していますので、株式会社としてどうにか立て直さないといけないという事でそこまではしていない。

あと、健康づくりに関しましては、これはもちろんやりながら、今鴨川市の中に医師も1人入りましたので。医師が入ったというのが、今まで千葉県全体を3分割して見ている竹内医師が県の中の部長になりましたし、政策参与として入っている。医療参与として。その中から、今国保病院。あれも今作り直しているんですけども。国保病院は完全に今の亀田病院と他のテリトリーがやっていく形を採ってプライマリーケアを行っていく中でこれからの医療、プライマリーケアをしていくという中には確実に予防医学というものが入っていなければいけない。

今必要としている目的というの、亀田病院があつて1強で他弱だとやはり良い医療ができない。ですから、今度は市も強くして一緒にできるようにして行って、やっと交流ができるようになりました。医師の中にも大量の職員をどうしていこうか、行政とどのようにやっていくのか、亀田病院の中にはたくさんの職員がいますので、それはまた先生方と相談させて頂きながら、この辺は最終的には確実に突き進めていきたいというのが今回のコミッションということだと思います。よろしくお願ひします。

【山下会長】

どうもありがとうございました。
他にご意見等ございますか。

(意見なし)

では、私の方から一つ。実は20年前になりますが、本課の方から総合型のスポーツを作るということで、鈴木課長には大変お世話になって、鴨川は現実に出てきているのです。スポーツをやる方から会費を頂戴してその会費で運用させていただき、道具を買って与えたりとか、施設の減免をしたりとか、それから市の方の助成金も少しいただきながら運用しております。その辺を一つ加味して考えて頂ければ大変有難いなと思っております。よろしくどうぞお願いします。

他に意見等ございますか。

(意見なし)

無ければ、議件(1)(仮称)スポーツを通じた地域振興基本計画(案)につきまして、ご承認いただいてよろしいでしょうか。

(はい、の声多数)

ありがとうございます。
次に、議件(2)社会体育施設について、事務局の説明をお願い致します。

【事務局】

資料に基づき説明。

【山下会長】

ありがとうございました。何かご質問はございますか。

【花山委員】

利用者が少なくなっているものは、思い切って縮小していくことと、行政で賃借でお借りしているものはできるだけお返ししていくと前にもこの会議でいいました。賃借料をお聞きして、非常に我々が考えたら高い賃料を払っているの、できるだけ賃料を払うところは無くすと。人口が減っていますので、どこか1箇所にとどめて、良いものを使ってもらうとか学校施設のものを何とか利用させてもらうとかそういう方で検討してもらって、今賃料を払っているものをできるだけ少なくしていただきたいというのが希望です。

【山下会長】

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。
事務局も何かございますか。

【事務局】

はい、参考にさせていただきます。

【山下会長】

事務局の説明が終わりましたので、また質問等も終わりました。この件につきましてご了承くださいませか。

(はい、との声あり)

ありがとうございます。

無ければ議件に従いましてすべての承認を頂きましたので、私の方の本日の議長の職を解かさせていただきます。長時間にわたりましてご協力をいただきまして本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。それでは事務局にお返しします。

7 その他

【事務局】

山下会長、ありがとうございました。

それでは、次第の7、その他でございますが、事務局からは特段ございません。また、様々な委員さんのご意見を頂いております。時間も時間ですのでどうしても、という意見があれば。

よろしいでしょうか。

【清水委員】

お願いですが、この会議は「鴨川市スポーツ推進審議会」ですね。それで、こちらの方の資料であります会議が、「スポーツを通じた地域振興推進委員会」で、ここにいる半分ぐらいの方々は両方に属しているのですけれども、出来ましたらどちらか区別のつくような略称みたいなものがあって少々お考えいただくことと、この審議会とこの委員会の性格とといいますか、最終的に目的はこういうことのためにこういうふうだというようなものを簡単にまとめておいていただくと、当事者である私達がわかりやすくなると思います。おそらく第三者にもパツと言われたときに、全く区別がつかないのではないかなと思いますので、是非その辺のところをご検討いただければと思います。

【事務局】

はい。次回から分かりやすい形でご案内を差し上げたいと思っております。

【亀田市長】

スポーツ全体の図面の中からわかるような形でお願いします。

【事務局】

はい。

8 閉会

【事務局】

よろしいでしょうか。それでは、以上をもちまして、「平成30年度鴨川市スポーツ推進審議会」を終了させていただきたいと存じます。

長時間にわたり、誠にありがとうございました。

12:23 終了

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項の規定により、会議録の確認をしました。

平成31年 3月14日

会議録署名人 氏名 水野 和枝